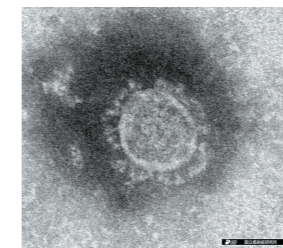


# 今、新型コロナウイルスと

## どう向き合うべきか？

### 新型コロナウイルスとは

コロナウイルスは以前から存在し、人や動物の間で感染症を引き起こすウイルスです。新型コロナウイルスを除くと、人に感染するコロナウイルスは6種類存在しています。そのうち4種類は一般的な風邪の原因となるウイルスで、残りの2種類は重症な肺炎の原因となるSARSとMERSです。現在まん延しているコロナウイルスは、今まで存在していたウイルスの型と一致しない新型コロナウイルスで、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を引き起こします。



新型コロナウイルス 電子顕微鏡写真  
出典：国立感染症研究所

### 新型コロナウイルス感染症の主な症状

主な症状は発熱、せき、頭痛、倦怠感、味覚や嗅覚障害等があります。一般的な風邪の症状に似ていますが、症状が長く傾向があります。潜伏期間(ウイルスが体に入ってから症状が出現するまでの期間)は約2日～14日といわれています。感染しても無症状の人や軽い症状のまま自然治癒するケースもあります。

### 感染経路

#### 接触感染

ウイルスが付着した手指で鼻、口、目に触れることで粘膜などを通じてウイルスが体内に入り感染します。

#### 飛沫感染

せき、くしゃみ、鼻水、つばなどの飛沫(飛び散ったしぶき)の中に含まれているウイルスを口や鼻から吸い込むことで感染します。

### 検査方法

新型コロナウイルス感染症の検査には大きく分けて2つの種類があります。

- ①「今」感染しているかどうか分かる検査  
↓ PCR検査  
抗原検査
- ②「過去」に感染していたかどうか分かる検査  
↓ 抗体検査

### PCR検査とは？

ウイルスの遺伝子を増幅させて検出する方法です。鼻や咽頭をぬぐって細胞を採取して検査を行うほか、唾液でも検査が可能です。

## 感染リスクが高まる5つの場面

### 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻(どんま)し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- 回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高める。



### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため感染リスクが高まる。



### 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで飛沫感染やマイクロ飛沫感染※での感染リスクが高まる。  
※マイクロ飛沫(100分の1ミリ以下)といわれる細かい飛沫粒子での感染
- マスクなしでの感染例としては、屋にカラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中中でも注意が必要。

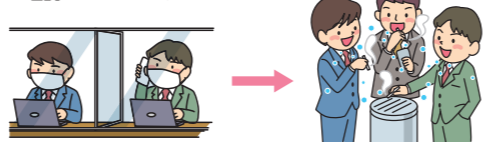
### 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



### 場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入ったときなど、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



## インフルエンザ流行に備え

## 発熱などの症状がある場合の受診方法が変わりました

季節性インフルエンザの流行期に入っています。県では、この時期に多発する発熱患者等に対応するため、地域の身近な医療機関のうち、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方の患者を診療・検査することができる医療機関を「埼玉県指定診療・検査医療機関」として新たに指定しました。発熱等がある場合は、下記のとおり「埼玉県指定診療・検査医療機関」を受診してください。医師の判断で、必要に応じて新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの検査を行います。

☎ 熊谷保健所 ☎ 523・2811

### ▶ 発熱等が生じた場合

最寄りの「埼玉県指定診療・検査医療機関」に、必ず電話で予約したうえで受診してください。「埼玉県指定診療・検査医療機関」は県ホームページでご確認いただけます。

### ▶ 「ホームページが見られない」等の理由で「埼玉県指定診療・検査医療機関」が確認できない場合

「受診・相談センター」または「県民サポートセンター」に電話でご相談ください。

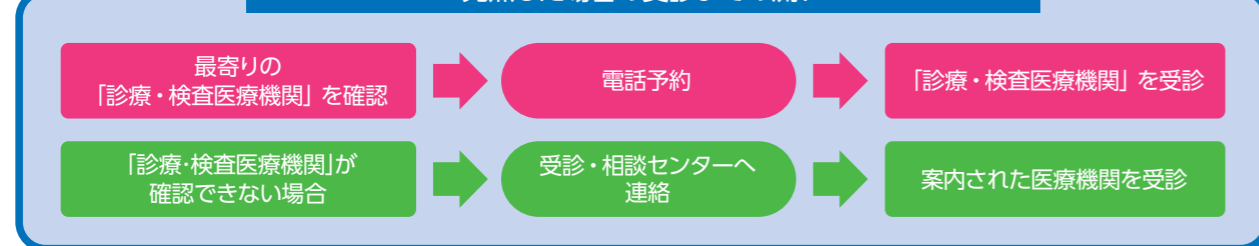
診療・検査  
医療機関



受診・相談センター ☎ 048・762・8026 FAX048・816・5801  
月～土曜日(祝日除く)午前9時20分～午後4時40分

県民サポートセンター ☎ 0570・783・770  
24時間、土・日曜日、祝日も受付

### 発熱した場合の受診までの流れ



※感染拡大防止のため、受診前に必ず電話で予約の連絡をしてください。

☑ 頃から「感染リスクが高まる5つの場面」を避け、新型コロナウイルスに感染しない・広げないように行動しましょう。発熱などの症状がある場合は、上記の方法で医療機関を受診するようにしてください。今、一人一人が新型コロナウイルスと向き合い感染症予防対策をできる範囲で行っていくことが大切です。

## 予防方法 感染しないために！ 感染を広げないために！



### ① マスクをしよう

マスクはせきやくしゃみによる飛沫(そこに含まれるウイルスなどの病原体)が飛び散ることを防ぎます。



### ② 手洗いの徹底をしよう

外出時は、多くの人が触れた場所を触れている可能性があります。帰宅後は、自宅にウイルスを持ち込まないために、流水と石けんで手を洗いましょう。また、手指の消毒も有効です。



### ③ 生活環境の消毒、換気をしよう

接触感染を予防するために部屋のドアノブ、電気のスイッチ、リモコン、トイレのレバーなど、よく触れる場所を消毒しましょう。また、室内のウイルスを少なくするために部屋は十分に換気を行いましょ。

## 新型コロナウイルス感染症の拡大により私たちの生活は大きく変わりました。

マスク・フェイスシールドの着用や検温・消毒することが生活するうえで当たり前となり、感染症予防対策が日常的に行われています。しかしながら、依然として感染者数は増加し、収束の見通しは立っていません。

このような状況の中、インフルエンザや風邪が流行する時期を迎えています。一人一人が感染拡大防止のために新型コロナウイルスに関する情報を再確認し、自分や大切な人を守るため、感染症予防対策を実践していくことが必要です。

☎ 健康福祉課(保健指導班)  
☎ 581・2121内線212・214